

病害虫発生予察情報（飛騨地域） 6月予報

モモせん孔細菌病、アブラムシ類の多発が懸念されます

【 果樹 】

せん孔細菌病

春型枝病斑が平年より多く、一部ほ場では葉での発病が認められます。春型枝病斑や周辺の新梢葉、果実などの発病部位は伝染源となるため見つけ次第除去し、ほ場外への持ち出し処分を徹底してください。また、多発ほ場では果実への感染防止を図るため、早めに袋かけを行いましょう。

アブラムシ類

管内4か所に設置したアブラムシ類の5月第4半旬までの黄色水盤累計誘殺頭数は54.6頭と平年（31.1頭）と比較して多く推移しています。名古屋地方気象台によると、今後気温が高く降水量が並～少ない予報であることから、発生量の増加が予想されます。園内をよく観察し、発生が認められたら防除を実施してください。

○主な病害虫の発生状況及び今後の予測（6月）

	病害虫名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬	
水 稲	生育(高山市)	並							
	葉いもち	並						<初発生>	葉いもち
	イネミズゾウムシ	少	<幼虫孵化最盛期>						補植苗は発生源になるので早めに除去する。
	イネドロオウムシ	少	< 幼 虫 発 生 期 >						イネミズゾウムシ 箱施薬を実施していないほ場や、多発時には本田防除を実施する(防除の目安: 夕方の100株当たり寄生数が30頭以上)。 イネドロオウムシ 箱施薬を実施していないほ場や、多発時には本田散布を実施する。
	防除適期		▲←		▲←	▲←	▲←	▲←	
ホウレンソウ	べと病	並	< 発 病 適 期 >						べと病
	防除適期		▲←						→▲
トマト	灰色かび病	並						<初発生>	灰色かび病
	葉かび病	並						<初発生>	花がらや葉先枯れは早期に除去する。
	防除適期		▲←					→▲	葉かび病 発病前から予防的な防除を行う。
野菜全般	コナガ	少							コナガ
	アブラムシ類	多							薬剤抵抗性が発達しやすいため、同一系統薬剤の連用は避ける。
	防除適期		▲←					→▲	アブラムシ類 定植時に粒剤施用する。高温乾燥が続くと多発する。防虫ネット・シルバーマルチで飛来を抑制する。
			▲←					→▲	

注) ▲、▲←→▲: 防除適期

	病害虫名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項
			1半旬	2半旬	3半旬	4半旬	5半旬	6半旬	
果	生育(高山市)	並							
	シンクイムシ類	やや少						<第1世代成虫最盛期>	シンクイムシ類 新梢伸長期の防除を重点的に実施する。
	カメムシ類	並	< 越 冬 世 代 成 虫 >						カメムシ類
樹	せん孔細菌病(もも)	やや多	< 感 染 拡 大 期 >						飛来状況に注意し、適期防除につとめる。
	防除適期							▲シンクイムシ類	せん孔細菌病 罹病部位は見つけたら切除する。また、多発するほ場では早く袋かけを行う。
			▲←					→▲	
			▲←					→▲	

注) ▲、▲←→▲: 防除適期

調査データ ほか

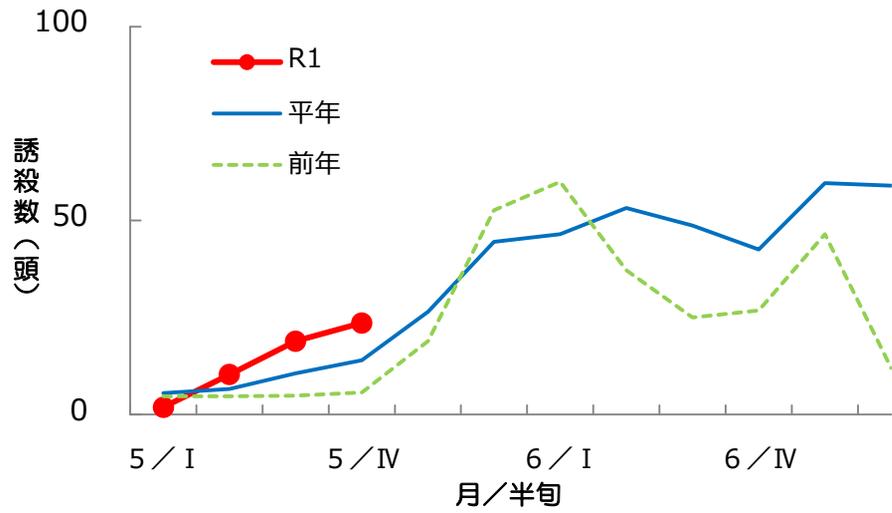


図1 黄色水盤によるアブラムシ類誘殺数の推移 (高山市下林町)

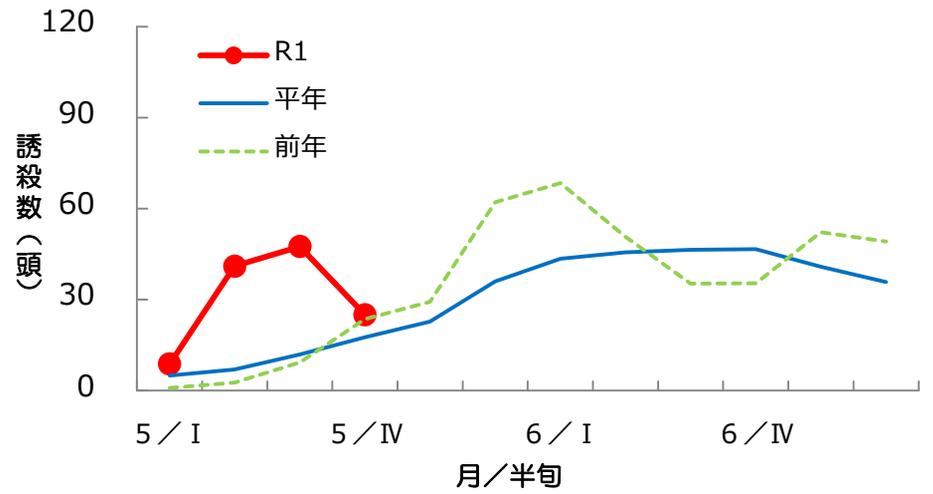


図2 黄色水盤によるアブラムシ類誘殺数の推移 (飛騨市古川町)

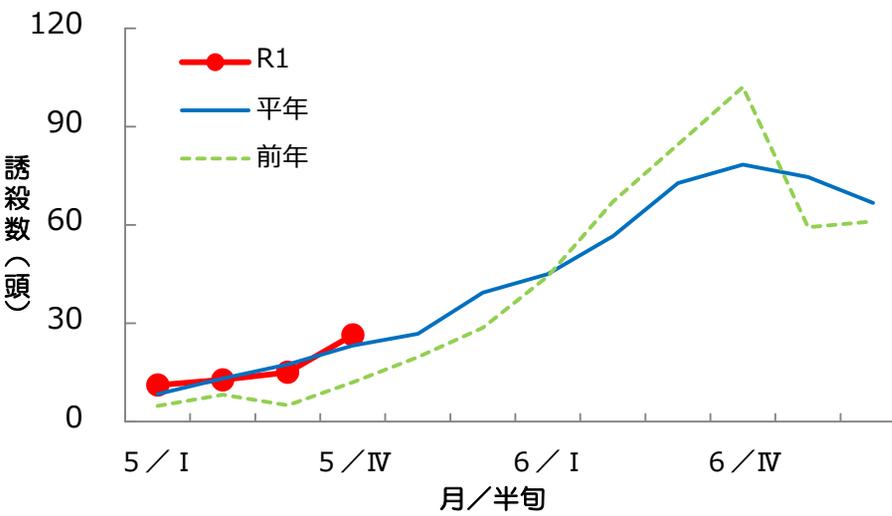


図3 黄色水盤によるアブラムシ類誘殺数の推移 (下呂市御厩野)

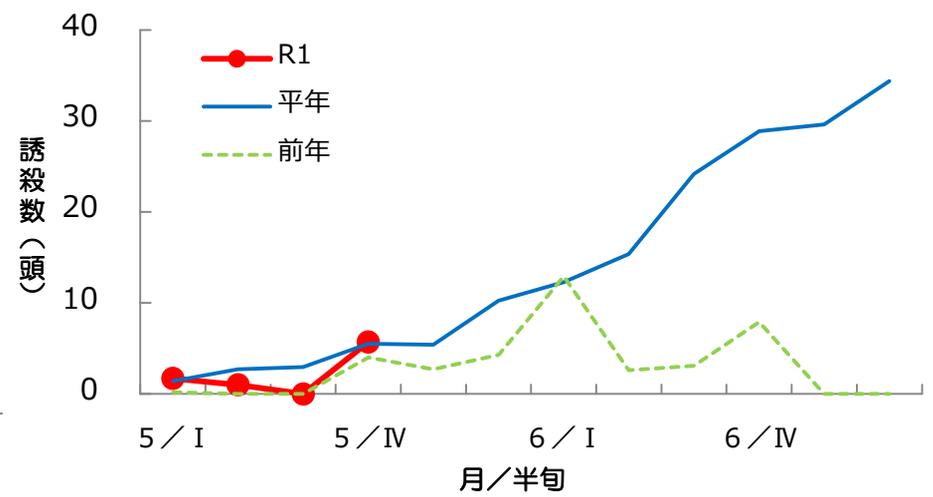


図4 黄色水盤によるアブラムシ類誘殺数の推移 (高山市朝日町)



図5 せん孔細菌病春型枝病斑



図6 葉のせん孔細菌病初期病斑

6～8月は「農薬危害防止期間」です。

農薬の適正な使用、保管管理に努め、農薬を散布する場合は、周辺に栽培されている作物のみでなく、住宅地等を含めて飛散がないよう、十分に配慮してください。

東海地方1か月予報 (名古屋地方气象台 5月23日発表)

向こう1か月の気温は平年より高く、降水量は少ない～平年並、日照時間は平年並～多いと予想されます。期間の前半は、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。期間の後半は、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。

岐阜県病害虫防除所では、この他に病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/>

飛騨支所 〒506-8688 高山市上岡本町7-468 TEL (0577)33-1111(内線245) FAX (0577)34-2706